

会議の概要（議事録）

会議の名称	(番号) 1-22	令和7年度 第2回墨田区行財政改革推進会議		
開催日時	令和7年8月29日（金） 午後4時00分から午後5時00分まで			
開催場所	墨田区役所庁舎7階 庁議室			
出席者数	6人 【委員】 倉阪秀史、平山敏弘、近藤弘忠 【事務局】 小倉孝弘（企画経営室長）、岐部靖文（企画経営室参事） 松本輝之（ICT推進担当課長）			
会議の公開 （傍聴）	公開(傍聴できる) 非公開(傍聴できない)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	0人
議題	墨田区行財政改革・行政情報化計画の改定について			
配付資料	《配布資料》 資料1 令和7年度 第1回墨田区行財政改革推進会議 議事要旨 資料2 次期計画骨子案 資料3 前回会議における意見に対する回答			
会議概要	議題について事務局から説明後、意見交換を行った。意見要旨は以下の通り。 ・ 資料2-P.15のKPIについて、KGIに向けてのKPIである。一連の繋がりの妥当性について関係者で合意をとる必要がある。 ⇒ 今回の資料には無いがロジックツリーを整理している。本会議終了後に整理したら展開するのでご確認いただきたい。 ・ 資料2は誰に向けての資料になるか。区民に対してなのか、議会に対してなのか。 ⇒ 本日の会議をもって施策の体系案の大枠を確定し、10月末の第三回で素案を取りまとめる。計画の素案が固まったら12月の議会、その後区民にパブリックコメント。そのため本資料は議会であり、HP公表で区民にも出していく。 ・ ポンチ絵でいいと思うので1ページ目、2ページ目で区民に対して「どうなるか？」があるといい。また、11スライドも4のサービスが区民に影響があるので、4から一番最初にきて区民サービスが変わるほうがいいのではないか。 ⇒ 基盤となるインフラが基礎の部分である（＝不断の取り組み）という構成になっているが、区民のためのわかりやすさについては見せ方を検討する。			

	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスデザインの観点を入れて住民中心とするサービスであれば、満足度やフィードバックをもらって改善する仕組みが必要ではないか。 ⇒ 満足度について一定の整理は必要。どういったことが出来るかも含めて検討する。 ・ 行政課題がどうやって出てきたか（区民アンケートなのか）、それがどう解決されるのか、区民がわかりづらいのではないか。 ⇒ 計画の素案の大枠を示しているので、現行の施策が課題と繋がる構成に検討していく。また、課題については区長運営方針などから示されているものである。 ・ 自治体 DX や Society5.0 などの国が考えている姿との紐づきもあると、墨田独自ではなく国等とも整合取れていると意識があるといい。 ⇒ 現行計画では国の施策等も入れているが、その分量が多くなっているため記載方法については検討したい。 <hr/> <p>会議の概要は、以上である。</p>
<p>所 管 課</p>	<p>企画経営室行政経営担当（内線 3 7 1 3）</p>